

令和3年第5回(9月)市議会定例会本会議報告について

教育総務課

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【柳澤眞由美議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て世帯が安心して相談できる体制構築について ・相談室の充実は、移住定住を考える家族の安心にもつながるが教育委員会の見解は。 	<p>【教育部長】</p> <p>ご承知のとおり、教育相談室では、資格のある相談員が、支援を必要とする子供たちを早期に発見し、早期に対応をするため、幼稚園、保育園、小中学校からの申し込みに応じて、保育園への定期巡回相談や小中学校の支援会議への参加、職員・保護者・本人との懇談などを実施し、実態把握や適切な支援の方向を検討しております。なお、教育相談室の業務については、園や学校を通しての申し込みとさせていただいております。また、電話相談については、総合教育センター1階に席を置く相談員が対応しております。相談内容によっては教育相談室にもつなげております。</p> <p>教育相談室内へ人材を配置すべきとのご意見ではありますが、相談件数は年々増えてきていることから、専門の相談員を増員させることについて、財政的な課題はありますが、現場の意見を踏まえながら対応をしてまいります。</p>
<p>【滝沢清人議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会的課題となっている「ヤングケアラー」の実態調査を行うとともに、相談窓口を検討すべきではないか。 	<p>【教育長】</p> <p>議員が示されたように、本来大人が担うと想定されている家族の介護や世話を、18歳未満の子どもが担う「ヤングケアラー」に関する国による全国規模の実態調査が、昨年12月～今年2月にかけて初めて行われました。</p> <p>「学習する時間がとれない」「睡眠が十分にとれない」等の悪影響が浮かび上がりま</p>

したので、千曲市教育委員会でも、各学校で把握している「ヤングケアラー」に該当すると思われる児童生徒がどの程度いるかを、5月末に聞き取り調査をいたしました。この調査結果から、「ヤングケアラー」に該当するのではないかとという生徒は数名おりましたが、確定的な数字ではございません。

なお、県では実態を更に把握し、検討していくため、県立高校の生徒を対象に本年度実態調査を実施する方針を明らかにしておりますので、県の動きを見極めながら対応について研究してまいります。

相談窓口については、子ども・保護者と最も距離の近い担任を始め、校長・教頭・養護教諭を中心に、いつでも気軽に相談できる体制を整えております。また、中学校区ごとにスクールカウンセラー4名とスクールソーシャルワーカー1名を配置し、相談にあたっております。更に県では、「ひとりで悩まないで」をスローガンに「子ども人権110番」「24時間子どもSOSダイヤル」等、様々な相談窓口を設置しておりますので、今後は、「ヤングケアラー」についても児童生徒・保護者への啓発を図りながら、関係部署と連携して対応してまいりたいと考えております。

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【田中秀樹議員】</p> <p>●文化施設とエリアマネジメント 稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館について</p> <p>① 両施設の設置目的は、文化の振興であるようです。一方、決算状況は毎年度、それぞれ数百万円の歳出超過にあります。両施設の現状、すなわち目的達成の程度や収支の状況などについて、どのような認識・評価をお持ちであるのか伺う。</p> <p>また、千曲市公共施設再編計画において両施設は計画的に改修を行いつつ現状を維持するとされている理由について伺う。</p>	<p>【教育部長】</p> <p>稲荷山宿・蔵し館は、市民文化の振興を目的に平成12年4月に、また、ふる里漫画館は、芸術文化の振興を目的に平成2年4月に開館しました。</p> <p>令和2年度決算では、歳出では、施設の維持管理費や人件費などで稲荷山宿・蔵し館が約560万円、ふる里漫画館が約380万円。歳入では、観覧料や施設使用料などで、稲荷山宿・蔵し館が約9万円、ふる里漫画館が約8万円で、ご指摘のとおり歳出超過です。</p> <p>利用者数の状況では、平成26年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定されて以降、両館とも年平均1,600人の利用者数に対し、令和2年度はコロナ禍の影響もあり、概ねその半減という極めて深刻な状況であり、いずれにしても毎年、歳出超過が続いている状況です。</p> <p>こうした状況に対する認識と評価ですが、当該施設の管理運営については、開館当初の予算編成を見ても、数百万円を超える歳出超過を見込んでおりました。これは、たとえ歳出超過にあっても、次代に向けて、市民文化の振興、芸術文化の振興を図ろうという方針であったと認識をしております。</p> <p>一方で、開館以来、限られた施設規模のなかで、様々な催しを企画するなど、利用者増に努めてまいりましたが、なかなか、収支構造の改善にはつながってはいない現状です。</p>

評価という点では、現在の千曲市においては、人口減少と財政難は大きな課題であり、このまま利用者が増えず、収支構造の改善が見込まれないのであれば、一定の Spann を以って、何かしらの線引きも必要ではないかと考えております。

公共施設再編が行政の大きな課題となっておりますが、現在、国では、文化の振興を観光の振興と地域活性化につなげ、それによる経済効果を文化の振興に再投資されるという好循環を創出していくことを目指しております。

市教育委員会としても、現段階では、当面、施設を維持し、稲荷山重伝建地区の拠点の一つとして効果的な活用を図っていきたいと考えておりますが、状況によっては何かしらの線引き、または決断も必要であると思っております。

【再質問】

これまでも様々な催しを開催してきたということですが、具体的にいくつかの例を挙げていただきたい。

先般、新聞報道にもありましたが、いわゆる企画展として花嫁衣裳の企画展示ですとか、開館当初から、私は広報を担当しておりましたので、市報に催しもの案内としていろいろな企画展をお知らせしてまいりました。地域の皆さま方にもご利用いただくということで、サークル的な活動の場としても活用されております。

- ② 文化施設については経済性だけではない価値があるものと理解しております。他方、両施設が建設された頃とは異なり、目下の厳しい財政状況からは文化施設においても可能な限り収入を生み出す取り組みが求められます。現在は市直営ですが、経営の民間委託などの改革も考えられます。その点について所見を伺う。

文化施設においても可能な限り、収入を生み出す取り組みは大変重要でございます。

その手法の一つとして、民間委託などはどうかのご意見をいただきましたが、平成 2 年に開館した漫画館と平成 12 年に開館した蔵し館について、これまでの管理運営方法について申し上げますと、両館ともに、開館から平成 17 年度までは(財)更埴市文化振興事業団（合併後は(財)千曲市文化振

興事業団)に管理運営を委託した経過がございます。

また、平成18年度から平成24年度までの7年間は、(財)千曲市文化振興事業団に指定管理者として管理運営を委託し、平成25年度以降は市直営となっているところでございます。

開館以来、市民サービスの向上と経費の縮減等を図ることを目的に管理委託や指定管理者制度の導入をしてみましたが、大幅な収支の改善には至りませんでした。

今後も、民間委託の可能性についても検討してまいります。

- ③ 令和元年10月からの取り組みとして、お得な6施設共通観覧券の発行があります。通常観覧料は一施設当たり300円ですが、何と割引率がおおよそ44%の1,000円で6つの施設を観覧できるという、とても良い取り組みです。残念ながらPRがほとんどされておらず、つい最近までホームページに記載がありませんでした。

現在の経営を継続するとすれば、まずは市民の皆さまに知っていただくため、市報に施設や近藤日出造さんの紹介コーナーを設置すること、また、アフターコロナを見据えたホームページの刷新を提案しますが、この点について及び観覧者、利用者増による収入アップの工夫について所見を伺う。

いわゆる6館共通観覧券については、令和元年10月に、森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館、城山史跡公園、稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館、アートまちかどの6館の利用促進を図るために取り組んだものでございます。ご指摘のとおり、この共通観覧券について歴史文化財センターのホームページのみの掲載でありまして、文化課のホームページには掲載がございませんでした。

この点については、真摯に反省をし、文化課ホームページにおいてもPRの充実を図り、一人でも多くの方に足を運んでもらえるよう努めてまいります。なお、ご指摘を受け、現在は、文化課ホームページにも掲載してございます。

ホームページの刷新については、現在、情報政策課において、ホームページの再構築を進めており、来年度から新しいホームページの運用が図られる予定でございます。それまでの間は、関係部署間で連携しながら、現行のホームページについて見やすさを重視しながら改善してまいります。

観覧者や利用者増による収入アップのた

めの工夫についての所見ということでございますが、財政状況も厳しくなり、単なる文化芸術、歴史文化の鑑賞機会の提供という目的だけでは、税金で運営費の大部分を負担するという点について、市民理解が得られにくい状況になりつつあると認識しております。

今後は、観光やコミュニティの形成など、他分野への貢献度なども必要と考えており、日本遺産認定なども契機とし、今後は、稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館の二つの施設を「まるごと施設」として連携させていきたいと考えております。また、ご提案いただいた内容については、市報などあらゆる広報媒体を通じて情報発信に努めてまいります。

この他、日本遺産推進室などとの庁内連携、観光局との情報交換、小中学校との連携などを通じ、一人でも多くのお客様にお越しいただくアイデアを創出することで、結果として収入のアップにつながるよう取り組んでまいります。

質問者・質問の要旨	答弁の要旨と今後の課題、具体的対応策
<p>【田中秀樹議員】</p> <p>●稲荷山のまちづくり構想について まち全体を「コンテンツ」として磨き、賑わいを作り出す必要がありますが、稲荷山エリアのまちづくり構想について、市はどのように考えていますか。</p>	<p>【教育部長】</p> <p>市の歴史的・文化的遺産の適切な保全や保存活用は「千曲市総合計画」に基づき、「歴史的風致維持向上計画」、「都市計画マスタープラン」、「総合戦略」等の個別計画で目標や方針を掲げて施策を推進してきました。</p> <p>ご質問の「稲荷山地区まちづくり構想」というものはありませんが、市は平成26年に選定された町屋敷周辺の「重要伝統的建造物群保存地区」を活かし地域の皆様とともに歴史的建造物の修理修景を推進し、伝統的な街並み景観の保全と活用に取り組んできました。</p> <p>今後も総合戦略に掲げた「歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成」を踏まえ、個別計画の施策を着実に推進し、潤いと賑わいのある稲荷山のまちづくりを進めます。</p> <p>なお歴史文化財センターでは、令和2年度より重伝建地区全体の整備計画策定に向け、調査業務を進めておりますが、長引くコロナ禍等の影響による遅れのため、報告は来年度中になる見込みです。</p>